

車座会議（佐賀県西松浦郡有田町）

1. 日時、場所

平成24年5月15日（火） 13時30分～15時30分
大有田焼会館 3階講堂

2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 65名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	24
資金調達	2
経営指導・経営支援	6
技術力・人材（技能承継等）	3
取引関係（下請取引・流通構造等）	0
販路開拓（海外展開等）	4
若手・青年層の活力発揮	2
女性層の活力発揮	0
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	4
その他	3

（2）主な意見

【資金調達】

- ・前会社の債務が残っており、信用保証協会の保証による新たな借入ができない。確かに色々な金融支援のメニューはあるが、使いづらい。まだまだ日本は、一度失敗すれば再チャレンジが困難な環境にある。
- ・今電気料金を年間3500万円払っているが、中小企業にとって非常に重い負担。これに対する支払い支援が欲しい。

【経営指導・経営支援】

- ・補助金が単年度で途切れてしまう点は改善を。4～6月の分に補助金が付かないのは残念。
- ・補助金は、要件が厳しかったり、事業完了後でないと支払われなかったりと、使いづらい。採択時に半分支払うなど改善を。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・複数の会社で1人の優秀な人を雇ったり、雇用者に不利にならないような条件で期限付きにして雇ったりできないか。

- ・年齢が離れた者同士の交流など、世代を超えた人材支援というものも面白いのではないか。
- ・若い人の間では、「有田」＝「窯業」というイメージも薄れている。教育のカリキュラムに、伝統産業・文化について学ぶことを入れてほしい。

【販路開拓（海外展開等）】

- ・有田焼は、海外に通用する品質であるが、各々の会社が小さく、ブランディングができていないため、世界ブランドになっていない。
- ・海外の展示会では、その国の顔がわかりやすい一方で、日本の顔は分かりづらい。もう少し日本という国が前に出てきてもいいのではないか。
- ・海外展開に当たって、エージェントとコーディネーターの信用調査について、国が支援をしてほしい。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・有田窯業大学校を卒業しても就職できないのが現状。起業するにしてもスタートアップするときに信用が薄く借入れができない。
- ・私が視察に行った地域では、1つの会社を5人で経営し、週1日だけ経営者として働くという事業を行っていた。週1日なのでそれほど負担にならないし、費用も5分の1ですむ。それでもノウハウを学ぶことができていた。このように補助金などを使わなくても起業できる方法があるのではないか。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・商店街の機能は、経済的機能、社会的機能など多岐にわたる。それを発展させるため、「自助・互助・公助」の精神で、まずは皆が元気をもって発展に取り組み、それでも足りない部分を公が支援してほしい。
- ・確かに補助金等は必要だが、自助が何より重要。国の施策も活用し、共に有田を盛り上げたい。

【その他】

- ・中小企業の環境は厳しいが売上は上がらず、経費の見直しが必要。なかでも、税金と電気代は下がらない。LEDの応援をしてくれるような、中小企業の電気代が下がるようなサポートをすべきだ。電気代を上げて原子力発電にお金を入れるのではなく、省エネ・節電にこそお金を投入してほしい。
- ・消費税の価格表示について、引上げの際に消費者に単価を上げたのではないかとと思われるので、外税方式にしてほしい。